

海外修学旅行の取組状況をお知らせします

昨年末から、現在7年生の生徒や保護者を対象に、海外修学旅行についての説明を行ってきました。その中で、生徒や保護者からは心配や不安など真しな意見をいただいております。その内容をQ&Aにまとめましたので、町民の皆さんにもお知らせします。

行き先は誰が決めるのですか

修学旅行は学校行事であり、行き先や内容は学校が教育的立場から判断しますので、教育委員会はそれを尊重します。

なお、今回の説明は町の方針や視察の様子を知らせて台湾と決められた際には費用など具体的な支援をすることを伝えたものです。

なぜ台湾なのですか

2年前に教育委員会と学校・地域で新たな体験で生徒を成長させる旅行にしたいと方向性を固めました。

誰も行ったことがなく異文化の豊富な体験ができる場所として、治安が良く親日度が高いこと、世界のIT先進地を実感したり高層ビル群と古い街並みの両方を見ることができる台湾を候補に選定しました。

台湾有事などで危険だと思えます

外務省の渡航情報が安全としていること、コロナ禍前に台湾に行った5万人350校の多くが再び実施しようとしていることなどで安全であると判断しました。

なお、緊急事態が起きそうな場合は、渡航を教育委員会として許可しません。

緊急事態で突然行けないのでは・・・

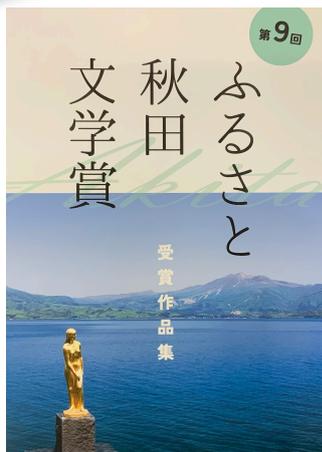
緊急事態が起きそうで国内に変更する場合は、4か月前であれば可能との回答が旅行会社からありました。5月実施の直前であっても、10月の修学旅行で対応できるので、行けなくなるということはありません。

中学生にはハードルが高いのでは

これまでの訪問した学校の多くは高校でしたが、今回の視察で、通訳がつけば中学生でも十分に見学やグループ活動ができると感じました。

パスポートはどうしますか

旅行経費については東京旅行よりもかかり増しになる分について町が補助をすると説明してきましたが、パスポートの取得についても町が負担します。



石坂仁氏「ふるさと秋田文学賞」受賞

昨年11月に選考会が行われた秋田県主催の第9回ふるさと秋田文学賞に、石坂仁さん（井内出身）の「クリームシチュー」が受賞されました。

公民館図書室に作品集が届きましたので、ぜひご一読ください。



今年度の義務教育学校の 評価です

2月24日に行われた学校応援協議会で、今年度の学校評価を右の通り確定しました。

来年度、目標が達成できるよう、学校の取り組みへの応援をよろしくお願いします。



目標	評価 (ABC)
考え判断し表現する授業づくり	B
自己有用感の向上	B
思いやりの心	B
地域や保護者から信頼される学校	B
小中一貫教育の充実	A



義務教育学校・教育委員会事務局職員異動

令和5年度教職員及び町教育委員会人事異動が次の通りとなりましたのでお知らせします。

転出 (学校)

石井 学 (副校長)	秋大附中副校長へ
柿崎 明 (事務)	男鹿工業高へ
安田 千妙	五城目第一中へ
山本 等	船川第一小へ
伊藤 覚	八郎潟中へ
舘岡 博之	五城目小へ
渡部 竜也	東湖小へ

転入 (学校)

伊藤 久 (副校長)	八郎潟中教頭から
石井 直人 (事務)	羽城中から
佐藤 恵	五城目第一中から
佐藤 文知	出戸小から
伊藤 靖子	船川第一小から
佐々木隆紀	飯島小から
渋谷 瑞希	新採用

転出 (教育委員会)

遠藤 凌雲	税務会計課へ
-------	--------

転入 (教育委員会)

鷺谷 幸平	健康福祉課から
桜庭 大翔	町民生活課から

教育委員会関係4月の予定

日	曜	内 容
4日	火	第一回井川町教職員研修会
7日	金	義務教育学校入学式
17日	月	スポーツ少年団入団式
25日	火	4月定例教育委員会

4月定例会 (4/24 10:30) 井川義務教育学校の傍聴を希望する方は事務局 (874-4424) までご連絡ください。

教育委員会フェイスブックをご覧ください。
www.facebook.com/ikawamatikyoui/



